

2 琵琶湖流域下水道事業の業務状況

(1) 事業の概要

各市町から流入する汚水を処理すること等により、琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現することを目的として、次の4つの処理区において琵琶湖流域下水道事業を実施しています。

令和元年度からは、地方公営企業法の一部を適用し、公営企業として実施しています。

処 理 区	浄化センター	供用開始	処理区域の存する市町
湖南中部処理区	湖南中部浄化センター 水処理能力（日最大） 294,500 m ³ /日	昭和57年 4月	大津市、近江八幡市、草津市、守山市、 栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、東 近江市、日野町、竜王町
湖西処理区	湖西浄化センター 水処理能力（日最大） 52,500 m ³ /日	昭和59年 11月	大津市
東北部処理区	東北部浄化センター 水処理能力（日最大） 120,750 m ³ /日	平成3年 4月	彦根市、長浜市、東近江市、米原市、 愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
高島処理区	高島浄化センター 水処理能力（日最大） 16,400 m ³ /日	平成9年 4月	高島市

※水処理能力（日最大）は令和3年4月1日現在

○事業の実施状況

令和2年度下半期の処理水量は76,621千m³で、前年度同期に比べ1,451千m³、1.9%の増加となりました。

なお、令和2年度の各処理区の処理水量は、次のとおりです。

（単位：千m³）

	湖南中部処理区	湖西処理区	東北部処理区	高島処理区	合計
上半期分	51,692	8,437	18,889	2,632	81,650
下半期分	48,367	7,402	18,348	2,504	76,621
合計	100,059	15,839	37,237	5,136	158,271

○建設事業の状況

令和2年度下半期は、浄化センターにおける水処理施設の設備改築更新工事および耐震補強工事、流域幹線管渠工事等を上半期に引き続き実施しました。

(2) 経理の状況

○予算の補正の状況

令和3年2月定例会議において、維持管理負担金の減少等により事業収益を316,953千円、動力費の減少等により事業費用を376,894千円それぞれ減額補正しました。また、企業債の減少等により資本的収入を592,914千円、工事費の減少等により資本的支出を933,091千円それぞれ減額補正しました。

○令和2年度予算の執行状況

令和2年4月1日から令和3年3月31日までの予算の執行状況は、次のとおりです。

●収益的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
琵琶湖流域下水道事業収益	21,725,900	—	△ 316,633	21,409,267	21,544,418	100.6
営業収益	8,758,047	—	△ 80,020	8,678,027	8,816,507	101.6
営業外収益	12,958,774	—	△ 231,497	12,727,277	12,724,945	100.0
特別利益	9,079	—	△ 5,116	3,963	2,966	74.8
琵琶湖流域下水道事業費用	21,575,900	—	△ 288,076	21,287,824	20,893,652	98.1
営業費用	20,708,604	—	△ 234,558	20,474,046	20,131,617	98.3
営業外費用	859,821	—	△ 49,725	810,096	761,491	94.0
特別損失	7,475	—	△ 3,793	3,682	544	14.8

●資本的収入および支出

(単位 千円)

科 目	当初予算額	前年度からの繰越 (財源充当)額	補正予算額	予算現額(A)	執行額(B)	(B)/(A) %
資本的収入	10,329,200	3,733,072	△ 579,964	13,482,308	10,070,343	74.7
企業債	3,013,100	956,900	△ 254,400	3,715,600	2,818,200	75.8
出資金	532,966	—	△ 34,280	498,686	498,686	100.0
補助金	5,081,046	2,776,172	△ 141,491	7,715,727	5,201,170	67.4
負担金	1,683,856	—	△ 149,210	1,534,646	1,534,639	100.0
固定資産売却代金	18,232	—	△ 583	17,649	17,648	100.0
資本的支出	13,717,700	4,690,185	△ 728,509	17,679,376	13,415,681	75.9
建設改良費	8,763,092	4,690,185	△ 922,236	12,531,041	8,283,240	66.1
企業債償還金	4,108,160	—	1	4,108,161	4,108,153	100.0
返還金	846,448	—	193,726	1,040,174	1,024,288	98.5

(注) 1 補正予算額は、令和2年9月定例会議、令和2年11月定例会議および令和3年2月定例会議における補正予算額の合計額です。

2 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、引継金、過年度分損益勘定留保資金等で補填しました。

○企業債の状況

令和3年3月31日現在の企業債の現在高は、48,175,523千円です。

○決算の状況

①損益収支

事業収益は20,746,469千円、事業費用は20,209,354千円となりました。この結果、純利益は537,115千円となりました。

●比較損益計算書

(単位 千円)

科 目	令和2年度(A)	令和元年度(B)	比 較 増 減	
			(A)－(B)	(A)/(B) %
琵琶湖流域下水道事業収益	20,746,469	20,697,014	49,455	100.2
営 業 収 益	8,022,708	7,770,436	252,272	103.2
営 業 外 収 益	12,720,795	12,872,672	△ 151,877	98.8
特 別 利 益	2,966	53,906	△ 50,940	5.5
琵琶湖流域下水道事業費用	20,209,354	20,147,002	62,352	100.3
営 業 費 用	19,507,005	19,284,436	222,569	101.2
営 業 外 費 用	701,805	825,347	△ 123,542	85.0
特 別 損 失	544	37,219	△ 36,675	1.5
当 年 度 純 利 益	537,115	550,012	△ 12,897	97.7

②財務状況

令和2年度末の総資産は 281,478,501 千円、負債は 262,393,135 千円となり、資本は 19,085,366 千円となりました。

●比較貸借対照表

(単位 千円)

資 産 の 部				負 債 お よ び 資 本 の 部			
科 目	令和2年度	令和元年度	比較増減	科 目	令和2年度	令和元年度	比較増減
固定資産	272,007,718	277,350,661	△5,342,943	固定負債	45,183,793	47,658,771	△2,474,978
流動資産	9,470,783	8,924,014	546,769	流動負債	10,746,782	9,395,362	1,351,420
				繰延収益	206,462,560	211,170,977	△4,708,417
				負債合計	262,393,135	268,225,110	△5,831,975
				資 本 金	1,922,412	1,423,726	498,686
				剰 余 金	17,162,954	16,625,839	537,115
				資本合計	19,085,366	18,049,565	1,035,801
合 計	281,478,501	286,274,675	△4,796,174	合 計	281,478,501	286,274,675	△4,796,174

(3) 令和3年度の事業および予算の概要

琵琶湖をはじめとする公共用水域の水質を保全し、県民の快適な住環境等を実現するため、本年度は4処理区あわせて155,394千m³の汚水を処理する予定としています。

また、管渠の整備工事や、各浄化センター等における設備の改築更新工事、耐震補強工事等を行うこととしています。

○令和3年度当初予算の概要

●収益的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
琵琶湖流域下水道事業収益		20,696,300
	営業収益	8,714,514
	営業外収益	11,981,786
琵琶湖流域下水道事業費用		20,657,800
	営業費用	19,876,621
	営業外費用	781,179

●資本的収入および支出

(単位 千円)

款	項	金額
資本的収入		10,773,500
	企業債	3,058,100
	出資金	781,296
	補助金	5,084,918
	負担金	1,849,186
資本的支出		14,287,700
	建設改良費	9,149,860
	企業債償還金	3,935,163
	返還金	1,202,677

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、過年度分損益勘定留保資金等で補填します。